

千年の森便り No.253

2025.1.26

ちば千年の森をつくる会

<http://toyofusajima.html.xdomain.jp/>

代表 福島成樹

sennennomori@hotmail.co.jp

活動の記録

1月19日（日）天候 曇りのち雨

2025年最初の活動日です。お天気は朝から曇り空で、夕方からは雨になる予報。活動内容を確認し、途中で雨が降ってきたら早めに終了しようと相談して活動を始めました。

年明け最初の活動は、会の恒例となった祠山にお参りしての安全祈願です。そのあと、植生保護柵の設置作業を昼食をはさんで午後1時半頃まで行い、そこで雨が降り始めたので今回は早めの解散となりました。



次回は、植生保護柵設置の続きと、今回できなかったコナラ伐採地の刈り払い、樹名板の設置等を実施したいと思います。参加者は、伊藤、鶴沢、大原、苅米、坂本、清水、福島の会員7名と、来年度から入会予定の片野さんの計8名でした。また、苅米さんには今回もたくさんの文旦と晩白柚（ばんぺいゆ）をお土産にご提供いただきました。ありがとうございました。（福島）

○祠山にお参り

豊英島の中央付近には小高い山があり、そこには小さな祠があります。年の初めの活動日には、安全祈願のためみんなでこの祠にお参りするのが会の恒例行事になっています。祠にお神酒を供え、二礼二拍手一礼で安全祈願し、お神酒をいただきました（ほとんどの人が運転手なので実際には飲めませんが）。

今年も安全第一で活動を行っていきましょう！（福島）



○お賽銭の奉納

1月恒例の祠山での安全祈願が終わったら、1年の間に供えられたお賽銭を預かって三島神社に奉納するのが、私のここ数年来のお役目です。今年も帰路三島神社に寄って、無事納めてきました。

秋の祭礼では、鞆鼓舞（かっこまい）や三島の棒術が奉納される広大な境内は静まりかえって荘厳な雰囲気でした。またせっかくなので、なんじゃもんじゃとして有名なアサダ（カバノキ科）の様子も見てきました。樹皮がはがれて反り返る特徴があるのですぐ分かります。本殿の右に数本あります。

伊豆三嶋大社から分祀され、歴史と自然豊かな三島神社にも是非お立ち寄りください。（伊藤）

○アサダ

伊藤さんのアサダの記事に関連して、PCを検索したら木材のアサダについて興味深い記述がありましたので以下に引用します。また、15年前に三島神社で写したアサダの写真がありました。少しは太くなったでしょうか。（坂本）

以下引用（<https://mokuall.net/jyusyu/asada/>）

北海道南部より南に分布している広葉樹です。心材は赤褐色、辺材は白褐色で、色の境界ははっきりしていま

す。サクラと見た目は似ています。他の広葉樹と比べても非常に硬く、加工は困難です。釘抜けが起きないという特性を持っています。国産材の中では最高レベルの硬さで、アメリカでは「アイアンウッド」、中国では「鉄木」と呼ばれています。流通量の少ない高級材となります。



三島神社の境内



アサダ



15年前のアサダ（坂本）



○植生保護柵の設置

千葉県内で多くの被害が発生しているシカによる食害、ここ豊英島でも下層植生の食害が進んでいます。今回は、8名の参加者、鶴澤さん指導のもと、植生保護柵の設置作業を行いました。

設置場所は、千年広場の北側を選定しました。まず、植生保護柵用の支柱を2m間隔で打ち込み区画を明確化。続いて、区画内にある枯死木の伐採、倒木などの除去を行いました。苺米さんは手際よく枯死木の処理を行っていましたが、危険な作業であることを痛感しました。

その後、ロール状になったネットを二人で回しながら支柱に留め、50m設置した後、ネットの上部にロープを通し補強しました。出入口の設置をしようとしたところで雨が本降りとなり、今回の作業は終了となりました。

馬酔木などが多くなっていますが、植生保護柵の設置により、エビネをはじめ、いろいろな植物が守られることを期待しています。（片野）



植生保護柵でエビネを保全



支柱を設置しネットを張る



上部にロープを通して補強



柵の外周は52m

○文旦と晩白柚の差し入れ

苺米さんが自家果樹園で収穫した文旦と晩白柚（バンペイユ）を持ってきてくれました。大きな背負籠に満杯でしたから、総重量では何十kgでしょうか、何しろすごい量でした。好きなだけ持ち帰って良いと言われ、遠慮なく頂戴したのがこの写真です。

小さく写っている方が文旦で夏ミカンと同サイズでしたが、早めに摘果して木に残す数を減らせばもっと大きくなるのに、これでは駄目だと謙遜されていました。巨大な方が晩白柚で、栽培書によれば果実自身の重さで枝や幹が折れないように支柱を添える必要があるなど手間暇がかかる代物のようです。文旦はグレープフルーツに似た味で私好みでした。晩白柚はこれからいただきます。苺米さんありがとうございました。（坂本）



文旦と晩白柚



ニスを塗った樹名板



膨らんできたコショウノキのつぼみ



ホウロクタケ



ホウロクタケの傘裏（拡大）

お知らせ

○次回の定例活動は**2月16日（日）**です。

年間計画では相対照度調査、植生保護柵補修、危険木伐採となっていますが、植生保護柵設置の続きと、今回できなかったコナラ伐採地の刈り払い、樹名板の設置等を優先して実施します。

ご参加をよろしく申し上げます。島に入る際は、ダニ対策とヘルメット着用を忘れずに！